



認定NPO法人 横浜日独協会主催講演会

演題：「池坊いけばなとその歴史」

講師： 風間こずえ（華梢）

（池坊東京清祥会支部長・池坊中央委員）

開催日時：2024年5月18日（土）15時

場所：技能文化会館 8階大会議室（関内）

JR 根岸線[関内駅]南口から徒歩 5分

横浜市営地下鉄ブルーライン [伊勢佐木長者町駅]出口2から徒歩 3分



日本の伝統文化であるいけばなは、華道とも呼ばれ長い歴史があります。明治時代頃から女性の物というイメージが定着してきましたが、それ以前は主に男性がたしなむものでした。また、堅苦しくきまりごとが多いと思われていますが、もともとは暮らしと共に発展してきた生活文化です。いけばなは華道という「道」の側面を持つため、それを極めることは厳しい世界があります。

華道の起源である池坊のある京都六角堂頂法寺は、587年に聖徳太子が創建し（法隆寺の建立は607年）、遣隋使として中国大陸に渡った小野妹子が帰国後、初代住職をつとめたお寺です。朝夕仏前に花を供えました。仏教では仏に供えるものとして花、香、灯があり、日本に仏教が伝来したと同時にこれらの風習も流入しました。仏をきれいに荘厳にしたいという気持ちと日本人の季節感、死生観を加え、花の本数、種類を増やしていったと考えられます。そこから、花瓶に花を挿すことからいけばなという日本固有の文化に発展していきました。花の美しさや、花を供えるという行為だけでなく、命の本質を見極める日本的な感性や思想に基づいていけられています。



講師紹介

- 1981年より池坊いけばな、茶道表千家の修行を始める。
- 2006年より小豆澤伝統文化子供教室（文化庁採択）、その後さらに寺子屋事業により子供たちを指導
- 2012年 ベルリンヒルデガルトウェグシャイダ高校でいけばな指導
- 2014年 光学機器の国際会議で立花を披露し、アメリカNASAの博士達にいけばな指導

現在では、花の指導をしつつ、薬師寺東京別院、大塚天祖神社への献花を続ける一方、様々な華展などで作品を発表し、池坊いけばなの伝統継承に躍進している。

*2022年11月21日に開催された「横浜日独協会10周年記念大茶会」において、玄関の立花他、各部屋の床の間にいけばなを生けて頂きました。

申し込み：締め切り2024年5月15日（水）会員以外の方もご参加いただけます。参加費 1000円

下記 URL からお申し込みください。（4月21日以降）

<https://ws.formzu.net/dist/S88344053/>



お問い合わせ：事務局 080-7807-7236 soohori3901-samart@yahoo.co.jp（大堀）